

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 アールビバン株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野澤 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室マネージャー (氏名) 中島 章裕

TEL 03-5159-7177

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,997	△8.0	776	40.6	732	39.4	413	750.2
21年3月期第3四半期	5,431	—	552	—	525	—	48	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	30.10	—
21年3月期第3四半期	3.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	17,865	14,494	81.1	1,054.41
21年3月期	18,116	14,510	80.1	1,055.54

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 14,494百万円 21年3月期 14,510百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	30.00	35.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期 (予想)				5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,350	△7.8	810	50.8	770	47.8	410	—	29.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 15,463,816株 21年3月期 15,463,816株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,717,170株 21年3月期 1,717,140株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 13,746,646株 21年3月期第3四半期 13,758,296株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の業績予想につきましては、平成21年11月5日に公表しました内容から変更しております。詳細は、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報」及び本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2.本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や輸出環境の好転により、生産の持ち直しや株価回復が見られたものの、雇用環境の改善には至っておらず、個人消費の低迷は依然として続く厳しい状況で推移いたしました。このような状況のもと、当社グループは、当社の原点に立ち返ったアート中心の営業施策を展開し、短期的には、販売力強化と、経費削減による収益構造の改革、長期的には、最新アートトレンドを主軸とした、収益源の多様化を目指す戦略に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期の連結業績は、売上高4,997百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益776百万円（同40.6%増）、経常利益732百万円（同39.4%増）、四半期純利益413百万円（同750.2%増）と、前年同期と比較して減収増益となりました。

#### ◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、お客様視点に立った営業力強化に一層注力し、催事販売における会場費等の削減・効率化に引き続き取り組んでまいりました。また、若手アーティストの発掘・プロデュースや、現代アート作品購入により、収益基盤の拡大を目指してまいりました。その結果、売上高は3,129百万円（同7.1%減）、営業利益446百万円（同22.6%増）となりました。

#### ◆金融サービス事業

当社グループ顧客中心に信販業務等を行ない、当社グループ以外の加盟店獲得、営業貸付など、収益機会の最大化を図っておりますが、取扱高の減少により、売上高675百万円（同6.8%減）、営業利益451百万円（同3.0%増）となりました。

#### ◆リゾート事業

タラサ志摩ホテルにおいて、宿泊者数の減少による稼働率低下で減収となったものの、ホテル運営の見直しによる経費削減効果もあり、売上高732百万円（同18.5%減）、営業損失78百万円（前年同期は143百万円の営業損失）となりました。

#### ◆健康産業事業

新たなフィットネスマシンや新会員プランの導入により引き続き会員数のアップに努め、業務の効率化を図るなど経費削減に注力した結果、売上高472百万円（同9.0%増）、営業損失51百万円（前年同期は118百万円の営業損失）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当四半期における総資産は、17,865百万円となり、前連結会計年度末比250百万円の減少となりました。営業貸付金が994百万円、商品及び製品が683百万円増加した一方、現金及び預金が1,010百万円、受取手形及び売掛金が931百万円減少しております。

また、負債につきましては、割賦利益繰延等が207百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ235百万円減少し、3,371百万円となりました。

純資産は、14,494百万円となり、自己資本比率は81.1%と、前連結会計年度（80.1%）とほぼ同水準を維持しております。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益や売上債権の減少等の増加要因があったものの、営業貸付金の増加、たな卸資産の増加、配当金の支払等の減少要因により、前連結会計年度末に比べ1,010百万円減少し、4,209百万円となりました。

当四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は526百万円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益751百万円、売上債権の減少額931百万円等の増加要因があったものの、営業貸付金の増加額994百万円、たな卸資産の増加額668百万円等の減少要因があったことによります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3百万円となりました。

これは主に敷金及び保証金の回収による収入31百万円、出資金の分配による収入24百万円等の増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出21百万円、無形固定資産の取得による支出11百万円、敷金及び保証金の差入による支出17百万円等によります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は481百万円となりました。これは配当金の支払等によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月5日に公表しました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。なお、平成21年9月1日付けで、(株)ダブルラックと(株)アートファイナンスが合併し、(株)ダブルラックとなっております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 表示方法の変更

##### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「出資金の分配による収入」は重要性が増したため、区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「出資金の分配による収入」は27,043千円であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,209,319	5,220,041
受取手形及び売掛金	6,118,084	7,049,305
営業貸付金	1,208,570	213,850
商品及び製品	1,264,560	581,267
仕掛品	5,139	12,009
原材料及び貯蔵品	47,702	56,096
前払費用	238,972	315,972
繰延税金資産	412,409	443,129
その他	964,706	648,441
貸倒引当金	△116,127	△92,465
流動資産合計	14,353,339	14,447,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,630,851	2,615,980
減価償却累計額	△957,841	△883,000
建物及び構築物（純額）	1,673,009	1,732,979
土地	324,468	324,468
その他	568,909	566,278
減価償却累計額	△309,465	△284,456
その他（純額）	259,444	281,822
有形固定資産合計	2,256,921	2,339,270
無形固定資産		
のれん	22,139	26,766
その他	28,358	38,218
無形固定資産合計	50,498	64,984
投資その他の資産		
投資有価証券	533,054	541,699
敷金及び保証金	281,447	295,722
繰延税金資産	132,415	159,824
その他	338,440	382,472
貸倒引当金	△80,467	△115,241
投資その他の資産合計	1,204,891	1,264,477
固定資産合計	3,512,311	3,668,732
資産合計	17,865,650	18,116,381

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	243,693	298,074
未払法人税等	191,296	88,505
賞与引当金	31,248	81,334
返品調整引当金	51,795	20,284
割賦利益繰延	1,476,281	1,683,813
その他	1,040,405	1,094,290
流動負債合計	3,034,720	3,266,302
固定負債		
退職給付引当金	5,558	13,290
役員退職慰労引当金	323,902	312,508
その他	6,923	14,164
固定負債合計	336,383	339,963
負債合計	3,371,104	3,606,266
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	7,349,309	7,416,676
自己株式	△1,142,520	△1,142,520
株主資本合計	14,569,091	14,636,458
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△74,544	△126,343
評価・換算差額等合計	△74,544	△126,343
純資産合計	14,494,546	14,510,115
負債純資産合計	17,865,650	18,116,381

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,431,065	4,997,463
売上原価	2,467,487	2,092,806
売上総利益	2,963,578	2,904,657
販売費及び一般管理費	2,411,032	2,127,784
営業利益	552,545	776,873
営業外収益		
受取利息	5,964	2,427
受取配当金	6,558	4,410
子会社清算益	—	14,294
その他	23,231	23,605
営業外収益合計	35,754	44,736
営業外費用		
投資事業組合運用損	12,499	43,111
為替差損	28,056	27,724
貸倒引当金繰入額	19,800	—
その他	2,727	18,427
営業外費用合計	63,083	89,263
経常利益	525,216	732,346
特別利益		
前期損益修正益	692	—
貸倒引当金戻入額	—	6,069
賞与引当金戻入額	—	20,197
関係会社株式売却益	11,295	—
特別利益合計	11,987	26,267
特別損失		
固定資産除却損	1,842	—
投資有価証券評価損	281,528	—
貸倒引当金繰入額	29,512	—
店舗閉鎖損失	10,565	2,081
不動産取得税等	—	4,646
その他	1,017	54
特別損失合計	324,465	6,782
税金等調整前四半期純利益	212,738	751,832
法人税、住民税及び事業税	102,892	299,972
法人税等調整額	61,180	38,094
法人税等合計	164,073	338,066
四半期純利益	48,664	413,765

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	212,738	751,832
減価償却費	137,460	116,396
のれん償却額	13,356	15,102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	68,502	17,592
受取利息及び受取配当金	△12,522	△6,837
為替差損益 (△は益)	30,253	6,869
売上債権の増減額 (△は増加)	1,585,862	931,220
営業貸付金の増減額 (△は増加)	—	△994,720
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,596	△668,029
仕入債務の増減額 (△は減少)	56,233	△54,380
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,441	△50,086
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△20,469	11,393
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△26,500	31,511
投資有価証券評価損益 (△は益)	281,528	—
子会社清算損益 (△は益)	—	△14,294
投資事業組合運用損益 (△は益)	12,499	43,111
関係会社株式売却損益 (△は益)	△11,295	—
前払費用の増減額 (△は増加)	141,826	77,000
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△388,173	△207,531
その他	△288,541	△338,090
小計	1,711,720	△331,943
利息及び配当金の受取額	12,522	6,837
法人税等の支払額	△369,119	△201,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,355,124	△526,526
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△37,442	△21,890
無形固定資産の取得による支出	△23,505	△11,987
投資有価証券の取得による支出	△155,399	△91
敷金及び保証金の差入による支出	△53,593	△17,691
敷金及び保証金の回収による収入	143,487	31,966
出資金の分配による収入	—	24,369
その他	1,999	△1,299
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,454	3,375
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△275,207	△481,132
その他	△3,683	△264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△278,890	△481,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,804	△6,174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	945,974	△1,010,722
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	51,125	—
現金及び現金同等物の期首残高	4,100,738	5,220,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,097,838	4,209,319



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	3,368,612	724,515	899,722	433,847	15,818	5,442,516	(11,450)	5,431,065
営業費用	3,004,650	286,644	1,043,279	552,823	30,903	4,918,301	(39,781)	4,878,520
営業利益 (又は△損失)	363,961	437,871	△143,557	△118,976	△15,085	524,214	28,330	552,545

(注) 1. 事業区分は、提供するサービスの類似性を考慮して、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

アート関連事業 版画等絵画の販売及びこれに付随する事業

金融サービス事業 割賦販売斡旋事業

リゾート事業 リゾートホテルの運営

健康産業事業 ヨーガスタジオ、フィットネスクラブの営業

その他の事業 家具販売事業

3. 事業区分の方法の変更

従来、イラスト系雑誌の出版は出版事業として「その他の事業」の区分に属しておりましたが、内部管理上、事業としての独自性が低下し、「アート関連事業」のイラスト系作家開発に付随して行われることが多くなってきたことから、事業の実態を反映したより適正なセグメントで表示するため、第1四半期連結累計期間より、所属する区分を「アート関連事業」に変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間における「アート関連事業」の売上高が53,385千円増加し、「その他の事業」の売上高が同額減少しております。また、当第3四半期連結累計期間における「アート関連事業」の営業利益が104,173千円減少し、「その他の事業」の営業損失が同額減少しております。

4. 営業費用の中に配賦不能営業費用はありません。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	3,129,831	675,548	732,827	472,816	5,011,023	(13,560)	4,997,463
営業費用	2,683,607	224,537	811,566	523,974	4,243,686	(23,095)	4,220,590
営業利益 (又は△損失)	446,223	451,010	△78,738	△51,158	767,337	9,535	776,873

(注) 1. 事業区分は、提供するサービスの類似性を考慮して、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

アート関連事業 版画等絵画の販売及びこれに付随する事業

金融サービス事業 割賦販売斡旋事業、融資事業

リゾート事業 リゾートホテルの運営

健康産業事業 ヨーガスタジオ、フィットネスクラブの営業

3. 営業費用の中に配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。